

財務金融委員会 質問要旨

2024年4月12日
立憲民主党 階 猛

1. 異次元金融緩和終了後も円安が進行している理由
2. 現在の実質金利は何%と見ているか
3. 実質金利がマイナスの状況は、為替相場にどのような影響を与えるか
4. 実質金利が上昇した場合、国家財政にどのような影響を与えるか
5. 為替相場と国家財政の安定にとって望ましい物価上昇率と実質金利の水準
6. 金利が上昇しても国家財政の安定性を維持するための方策
 - ① 来年度のPB目標達成ないし未達成後に財政収支の水準を目標とする必要性
 - ② 内外の国家財政への信頼を維持する上で必要な債務残高対GDP比の水準
 - ③ 将来の労働人口等も考慮して現実的に想定される経済成長率の水準
 - ④ ②、③を勘案した上で、許容される平時の財政赤字の水準
 - ⑤ 財政収支を国民に分かりやすく示すため、毎年度の予算に計上される国債費から元本償還分を除外する必要性と合理性
 - ⑥ 補正予算で財政収支が悪化することを防ぐため、本来本予算に盛り込むべき事業の「補正送り」はやめ、平時の補正予算の規模は本予算の予備費残額 α の範囲で行うべきではないか
 - ⑦ 財政収支の赤字が続く限り、決算剰余金は年度内に増えた借金の使い残しに過ぎず、これを財源とする発想はやめるべきではないか
7. 日銀保有ETFを政府が交付国債を発行して簿価で買い取り、少子化対策財源に充てることの必要性と合理性

※答弁はいずれも財務大臣

以 上